



# みんなであらゆる

## 校区防災連絡会

地域・行政・施設管理者が円滑に避難所運営をできるように、校区防災連絡会が組織されています。指定避難所ごとには避難所運営委員会も組織され、日頃から避難所運営について話し合いを行なっています。

避難所運営マニュアルを作成している地域では、マニュアルを基にした訓練も行われています。地域によって異なりますが、自治会・地域の各種団体が校区防災連絡会・避難所運営委員会に参加しています。



## 消防団

火災や災害が発生すると、自宅や職場から現場に駆けつけ、消火活動・救助活動を行います。地域住民で構成されている団員は、他に本業を持ちながら活動しています。熊本地震の際にも、地域に詳しい消防団と消防が連携することにより、倒壊した家屋から被災者を救助するなど、地域住民と消防をつなぐ重要な組織となっています。



## 自主防災クラブ

町内を中心に組織されています。大規模災害が発生した際に、初期消火・避難誘導・救出救護などを行います。地域住民で構成されており、校区防災連絡会や消防団と連携します。災害発生直後は、自主防災クラブなどの「共助」の力が重要になります。

## 地域でのお困りごとは、まちづくりセンターへ

相談窓口  
情報発信  
活動支援

まちづくりセンターでは、地域の困りごと、相談を受け付けています。行政の担当部署につなげたり、地域活動の支援を行うなど、地域の困りごとを解決していくために、地域の皆さんと一緒に進んでいきます。また、地域の情報をあつめて情報発信したり、熊本市からのお知らせなども「あさひばだより」などを通じて皆さんにお伝えしていきます。

